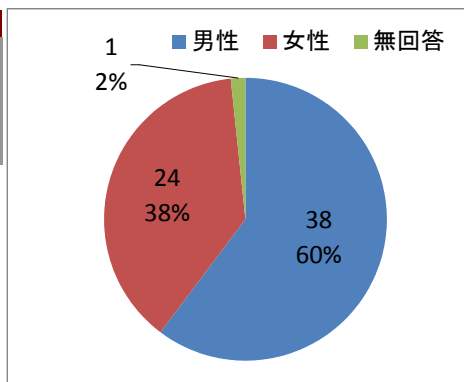


食品に関するリスクコミュニケーション 平成27年度 食の安心安全セミナー
 食品中の放射性物質に対する現状と取組について
 (2月10日(水) : 宮城会場) アンケート集計結果

問1 : ご自身について、ご回答ください。

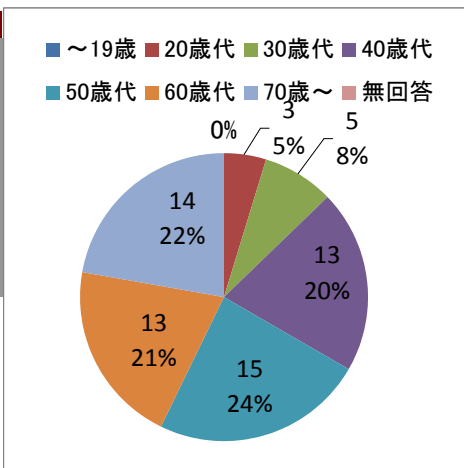
① 性別

1) 男性	38	60.3%
2) 女性	24	38.1%
無回答	1	1.6%
合計	63	100.0%



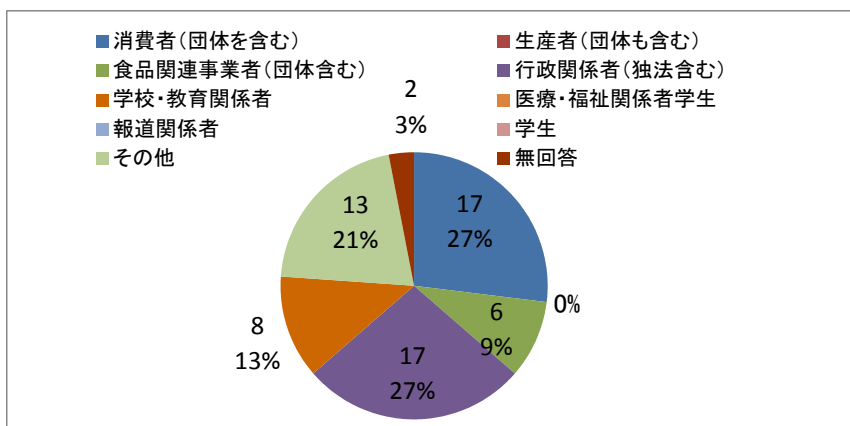
② 年齢

1) ~19歳	0	0.0%
2) 20歳代	3	4.8%
3) 30歳代	5	7.9%
4) 40歳代	13	20.6%
5) 50歳代	15	23.8%
6) 60歳代	13	20.6%
7) 70歳~	14	22.2%
無回答	0	0.0%
合計	63	100.0%



③ ご職業

1) 消費者(団体を含む)	17	27.0%
2) 生産者(団体も含む)	0	0.0%
3) 食品関連事業者(団体含む)	6	9.5%
4) 行政関係者(独法含む)	17	27.0%
5) 学校・教育関係者	8	12.7%
6) 医療・福祉関係者学生	0	0.0%
7) 報道関係者	0	0.0%
8) 学生	0	0.0%
9) その他	13	20.6%
無回答	2	3.2%
合計	63	100.0%



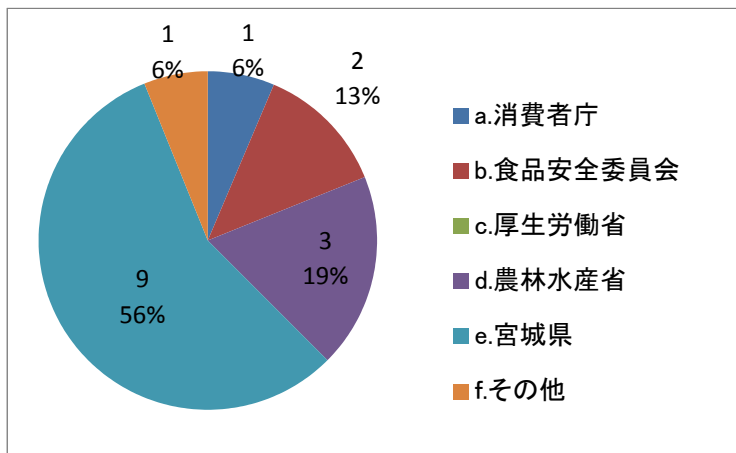
問1：ご自身について、ご回答ください。

④ 本日の説明会の開催をどのような方法で知りましたか。

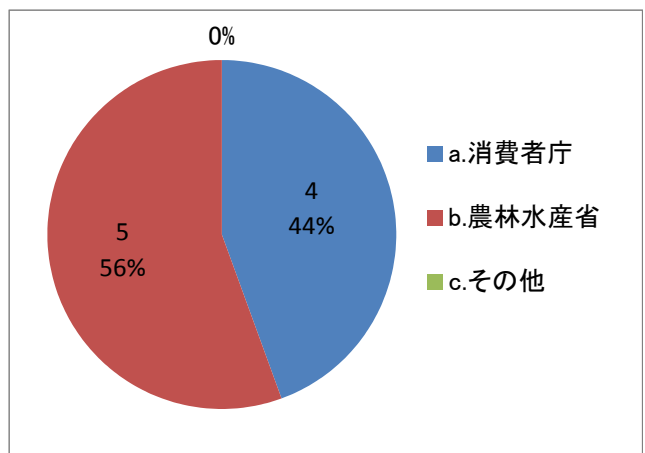
1) ホームページ	16	21.6%
a.消費者庁	1	-
b.食品安全委員会	2	-
c.厚生労働省	0	-
d.農林水産省	3	-
e.宮城県	9	-
f.その他	1	-
2) メールマガジン	9	12.2%
a.消費者庁	4	-
b.農林水産省	5	-
c.その他	0	-
3) チラシを見て	9	12.2%
4) 所属団体からの連絡	11	14.9%
5) 知人からの紹介	1	1.4%
6) 宮城県からの連絡	30	40.5%
7) その他	7	9.5%
無回答	0	0.0%
合計	74	112.2%

※複数回答あり

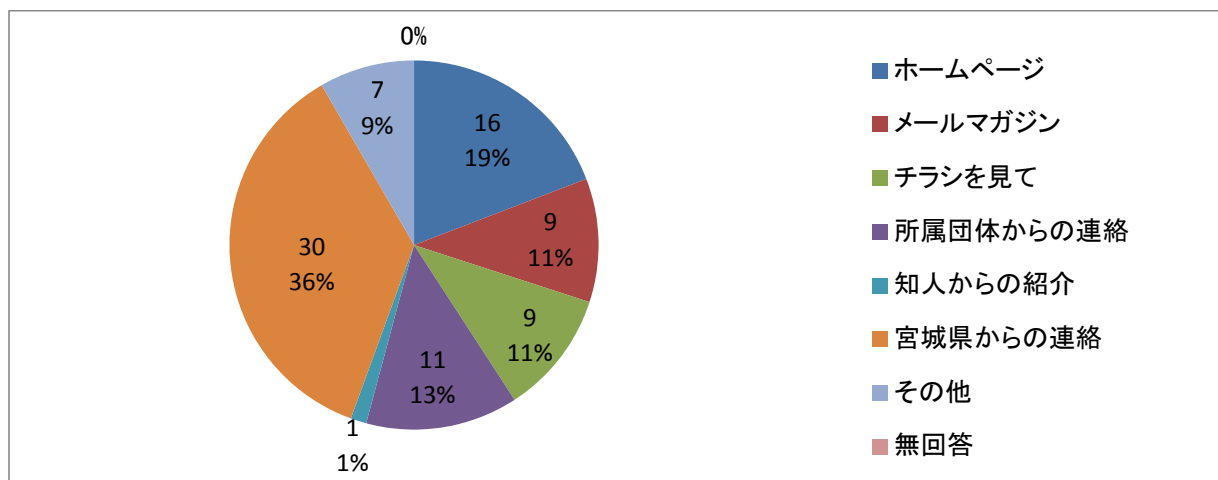
*ホームページの内訳



*メールマガジンの内訳



*全体の内訳



(1) その他の内訳なし

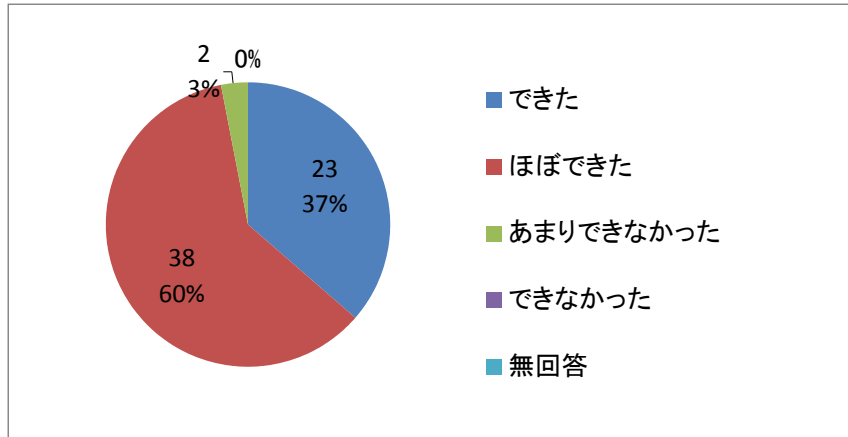
(2) その他の内訳
放射性物質コミュニケーター

(7) その他の内訳
・市教育委員会

問2：本日の意見交換会についてお伺いします。

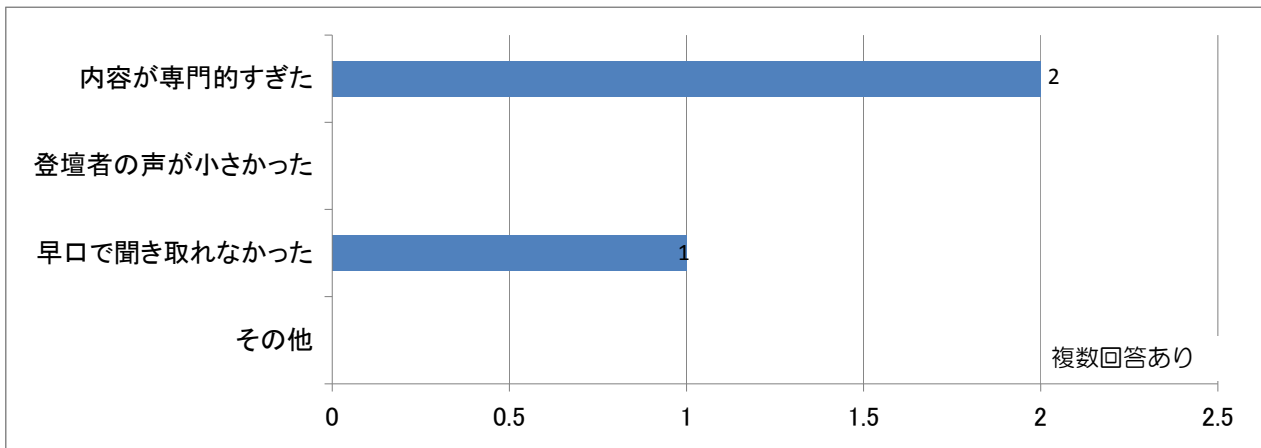
① 基調講演について、理解することができましたか。

1) できた	23	36.5%
2) ほぼできた	38	60.3%
3) あまりできなかった	2	3.2%
4) できなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	63	100.0%



⇒ 「3.あまりできなかった」、「4.できなかった」と回答した方、その理由は何ですか。
(複数回答可)

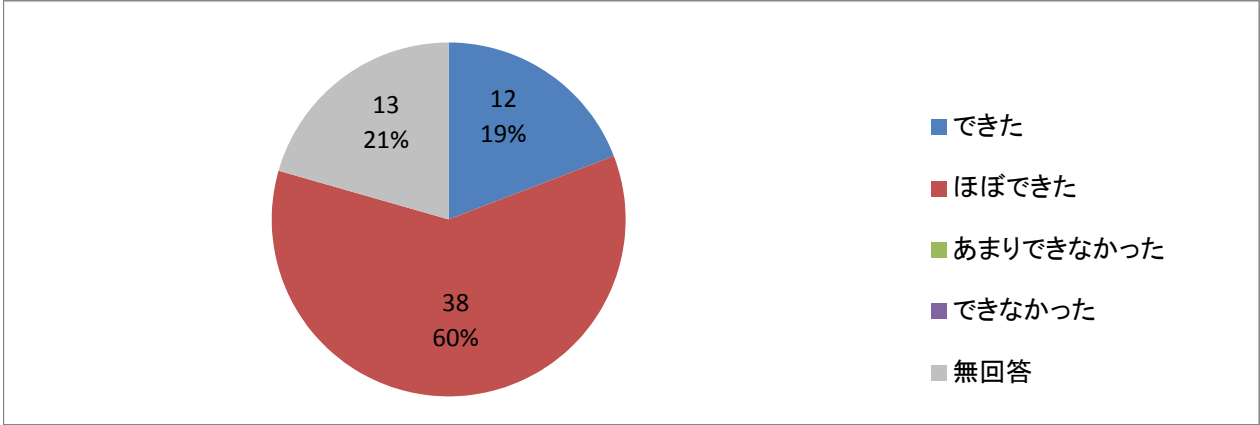
1) 内容が専門的すぎた	2	66.7%
2) 登壇者の声が小さかった	0	0.0%
3) 早口で聞き取れなかった	1	33.3%
4) その他	0	0.0%
合計	3	100.0%



問2：本日の意見交換会についてお伺いします。

② 意見交換の内容について、理解することができましたか。

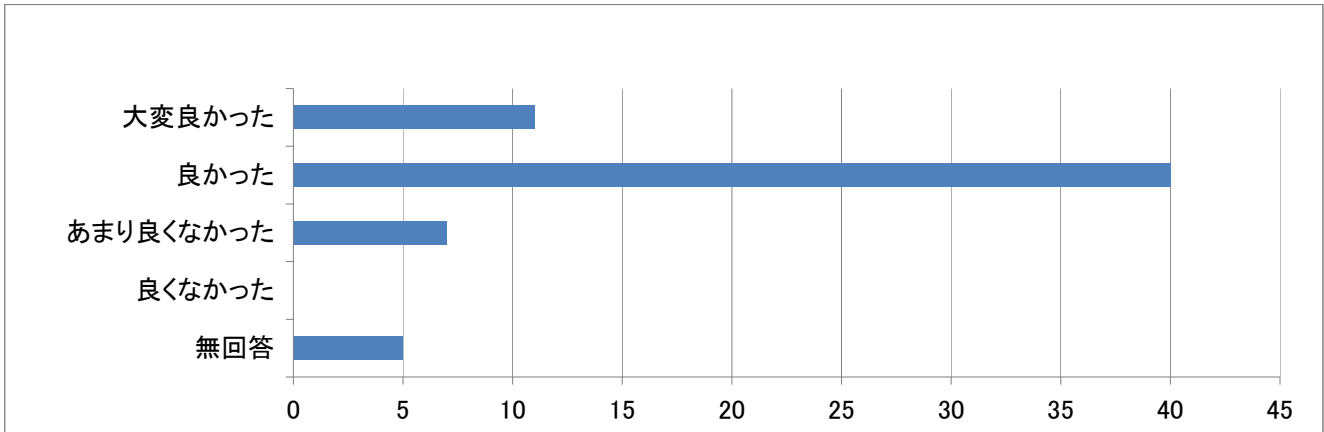
1) できた	12	19.0%
2) ほぼできた	38	60.3%
3) あまりできなかった	0	0.0%
4) できなかった	0	0.0%
無回答	13	20.6%
合計	63	100.0%



問3：本日の意見交換会全体についてお伺いいたします。

① 全体の構成（内容・時間配分）はいかがでしたか。

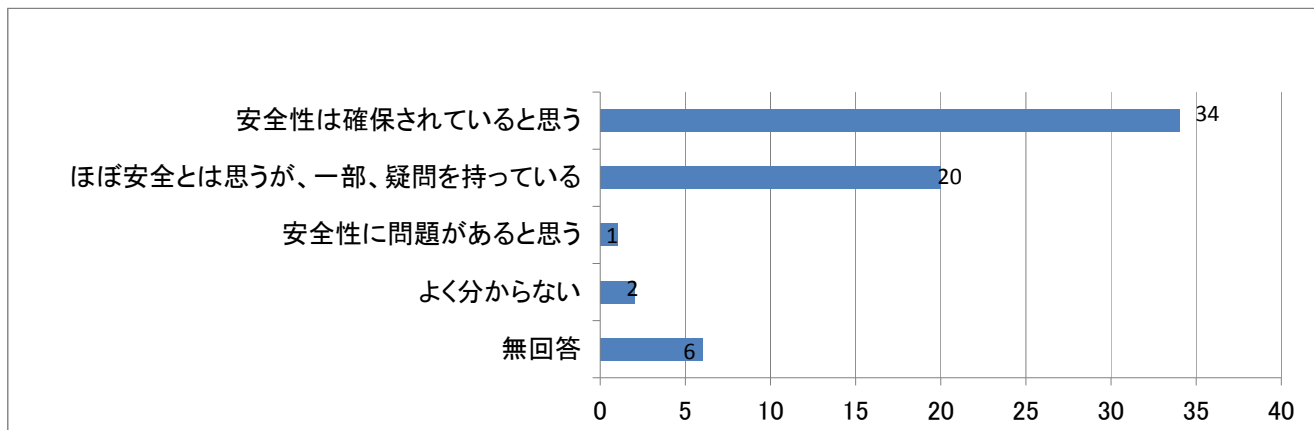
1) 大変良かった	11	17.5%
2) 良かった	40	63.5%
3) あまり良くなかった	7	11.1%
4) 良くなかった	0	0.0%
無回答	5	7.9%
合計	63	100.0%



問3：本日の意見交換会全体についてお伺いいたします。

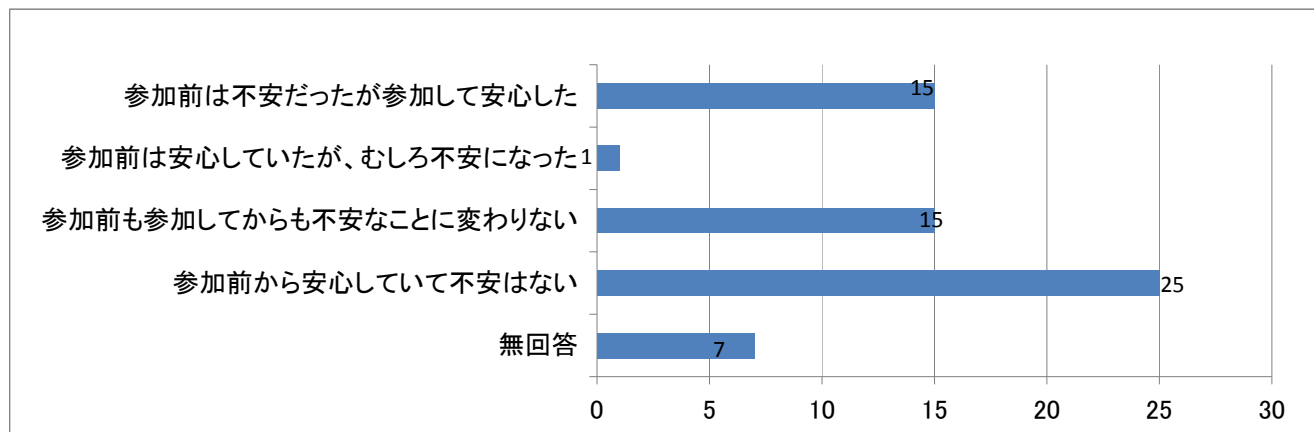
② 食品中の放射性物質に対する安全確保の取組がされていますが、流通している食品についてどう思いますか。

1) 安全性は確保されていると思う	34	54.0%
2) ほぼ安全とは思いますが、一部、疑問を持っている	20	31.7%
3) 安全性に問題があると思う	1	1.6%
4) よく分からない	2	3.2%
5) 無回答	6	9.5%
合計	63	100.0%



③ 食品中の放射性物質対策について、会に参加する前と後で、あなたの考え方は変わりましたか。

1) 参加前は不安だったが参加して安心した	15	23.8%
2) 参加前は安心していましたが、むしろ不安になった	1	1.6%
3) 参加前も参加してからも不安なこと変わらない	15	23.8%
4) 参加前から安心していて不安はない	25	39.7%
無回答	7	11.1%
合計	63	100.0%



問3-④ 意見交換会全体についてご意見をお聞かせください。

意見交換会全体についてご意見をお聞かせください。

(良かった点)

・現場の声
・野生鳥獣、山菜の安全性など資料の時に説明がなかった話が聞けて良かった。
・直接的に生産者の方や行政の方にお話を伺う機会があったこと。
・生産者も検査について徹底している様子、安心。
・放射能測定システムの自動システムを、ユーザーにPRした方が良い。私は今日、知りました。
・質問に対する説明が分かりやすかったです。
・それぞれの分野の取組を知ることが出来てよかった。
・小金澤先生の進行の仕方がとてもわかりやすくて良かった。
・他県の詳しい状況を知る事ができて良かった。
・知識があまりない人にも分かり易く、勉強になった。
・生産者の気持ちがよく分かった。消費者のために頑張ってくれる、わっしょい!
・生産者の皆様、ごくろう様です。
・消費者の方から意見を聴けて良かった。
・基調講演「放射線の基礎知識と食品中の放射能」はわかりやすかった。
・石巻魚市場の志摩さんの報告で、「消費者の生命」が流通の最終目的として堂々と発言していることがよかったです。生産・事業者として国・県の方針に従って検査を行っている、これくらい検査して基準値をすべて下回っています。等という事業者目線ではなく、消費者目線を持って、それが第一の目的だと、事業者には考えてもらえると嬉しい。
・個々の農産物、水産物に対する取組み事項について具体性があり、よく理解できた。
・現場の生の声（キノコや魚）を聞いた点。
・たくさんの分野の方にお話しいただいた点。
・生産者の方から直接、栽培方法、放射能対策を聞いて安心した。
・予想もしていなかった国の関係機関の方々が出席されて良かった。
・専門家の説明が一番参考になった。放射能、放射性物質の違いや人体への影響等、食品の安全対策など参考になりました。
・関係各位10名の出席の元で開催された事に大いに意義がある。色々な議題を拝聴できて大変有意義であった。もっと多くの方々に参加をして欲しかった。時期としては良かったのだが?

(改善すべき点)

・興味をそそる話がなく物足りなかった。
・外国産からの野菜等に産地記入してもらいたい。(例)中国産の「しょうが」。高知産、熊本産の様に。
・時間配分のせいか早口で話をした方がいらっしまったのが残念でした。もう少し多方面の生産者の話があっても良かったと思う。
・パネルディスカッションのパネリストの中にそれを報じる報道関係者が含まれていないこと。
・5年目を迎えて気をつけてもらいたい。未解決で注意して欲しい事を明らかにして、それを今後どうするかを明らかにして欲しい。
・石巻以外の魚市場での検査体制も、参考までに紹介した方がより安心感を与えられたのではと思います。
・スーパーには外国よりの商品が多いですが、その点は?
・リスクコミュニケーションを行う場合に、幅広い年代の人達の意見を聞く事が必要な事と思います。
・開催の時間等、検討が必要なのは。
・(行政に対して)パネルディスカッションで加藤さんが発言していたように、行政は生産者の頑張り、取組みを広く伝える義務もあると思う。検体がいくつなどと数値的なものだけでなく、生産者と消費者の思いをつないでほしい。
・まだ問題がある(出荷制限がかかっていない地域)などの取組み状況など、真の状況についても具体的に教えていただくと、なおありがたかった。
・パネラーの数が多く、一般人との意見交換会としては疑問。
・風評被害改善対策が必要。全ての品目の安全のPRの仕方を考える必要がある。直売店も含め、販売店各店に安全PRとして、放射能大丈夫商品を看板や、商品に産地と検査済み安全と書いて販売すべき。(魚類、キノコ、野菜、肉類等)

その他（説明会の運営、今後食品に関するリスクコミュニケーションで希望するテーマ等）について、ご意見がありましたら記入願います。

<p>・日本に於かれている立場の難しさを痛感する。どのような難しさに直面しても官民が力を惜みず対処して解決しなければと思う。それは未来を生きる子供達へのためにもある。努力を惜みず私達は働いていきたいと思う。</p>
<p>・鳥インフルエンザ、BSEの現状と現対策</p>
<p>・もっと暖かい季節には出来ないのでしょうか。ご検討ください。 ・会場の暖房が利きすぎ暑すぎませんか？</p>
<p>・放射線以外の有害な物質（農薬など）についてもセミナーを開いてほしい。 冬以外の時期を希望します。 知っていることばかりで新しく知り得た情報がなかった。</p>
<p>・ホルモンなど</p>
<p>・5年を向かえた検査体制と結果をもっと広報してほしい。各機関のHPで公開とあるが、それを見る手段のない人が多いので、紙上等を考えてほしい。</p>
<p>・市民、県民が川魚釣り、野生のキノコ狩りで取った魚、果物（キノコ、桑の実）は安全なのか、安全安心ならば県庁でマスコミを通して公証してほしい。知らせていくことが大切と感同感しました。</p>
<p>・意見交換会でもあった風評被害について、生産者の努力、県の検査態勢などもっと全国に発信して、食の安全をアピールしてください。</p>
<p>・宮城県の発表について 「宮城県放射線、放射能測定実施計画」という名称はおかしいのでは？ 放射能とは放射線を出す能力のことなので、これを測定するというのはおかしい。本来は、「放射性物質測定実施計画」というのが本当ではないか？ スライド番号7の表の基準値 (ba/kg)→ (Bq/kg)、Bは大文字ではないでしょうか。</p>
<p>・本日は、現在における取組みを直接聞きたくて参加いたしました（ほぼ毎回参加しています）。現時点での生産者、行政の取組はほぼ充分だと思っています。が問題は科学的根拠を知らず、ただイメージで風評を助長している一般消費者の意識をいかに変えるかではないでしょうか。本日の参加者は少なからず意識のある方々。それよりは一般消費者に対し、わかりやすい広報が大切かと思えます。（日頃から本当に努力されている生産者や漁業者の方には頭が下がります。） 行政・マスコミ関係者の方の、息の長い偏りのない客観的な報道、告知、広報をお願いします。これ以上不安感をあおるだけの報道はやめて頂きたい。</p>
<p>・リスクコミュニケーションは継続して説明し続けることが、安全・安心感を伝えるものと考えます。今後とも頑張ってください。本日はお世話さまでした。</p>
<p>・国の立場で放射性物質の検査や、出荷制限の減少の全体的な傾向を資料で。</p>
<p>・実際の人の健康への影響の全体像などもふれてほしい。</p>
<p>・平日の午後ということなので、参加できない方もいると思うので、休日の開催というのは調整難しいのでしょうか？</p>
<p>・このようなセミナーを数多く開催してもらいたい。休日であればもっと参加者が増えてよかったですと思います。</p>
<p>・マスコミの力は大きいと思います。</p>
<p>・石巻の検査について、もっと何回も何回も放送すべき（活字ではなく）</p>
<p>・たくさんの資料をいただき、参考になりました。ありがとうございました。</p>
<p>・輸入食品の安全性について情報が得られる場を設けていただきたい（TPP関連）。</p>
<p>・食品中の放射性物質に対する安全性について、国が安全シールを貼る取り組みを行うべきだ。</p>
<p>・風評被害を小さく（少なく）する方策を、国・県・流通・生産各現場ごとの取組内容をセミナー開催してほしい。人物金を、東電と国が責任を持って投入してほしい。</p>
<p>・次回も是非、参加したいです。</p>
<p>・前回はアエルにて、コーヒーの件で参加しました。</p>
<p>・私は山育ちなので、自然の山菜、増え過ぎて駆除した野獣の肉、天然の山女、いわな等を食べたいが、山の除染はお手上げの様だが、何時になったらこれらを安心して食べられる様になるのか？</p>
<p>・深海魚の放射能が不安だけれど、食物連鎖と無関係なものか？</p>
<p>・問3-③：回答4）生産者団体、行政、食品等事業者が対策を取っていると思っていたから。</p>
<p>・輸入食品の検査（検疫）について、具体的・詳細なお話をテーマとして欲しい。今後TPP実施されると、輸入食品のリスクは更に増大すると思えます。</p>
<p>・いろいろな分野で放射性物質（食品中）に対する努力をされているのが、よく分かりました。ただ、小さい子を持つ者としては、できるだけ0に近い含有値の食品を選びたいと思っています。</p>

<p>・学者と行政側は安全を協調しているが、消費者をいかにして、安全・安心の理解を得て、消費拡大につなげていけないか。</p>
<p>・本日の会は「検査体制が万全であるから、店頭で販売されているものは安心して食べてよい」ということなのか？</p>
<p>・今まで数回、放射能問題の講習会がありましたが、今回の会合では各々の業種の方、生産者等の直接の話と専門家の話とで、分かり易く良い会合でありました。</p>
<p>・個人で食品を直売している人は、市や県等への公共機関に届けを出しているのか。許可が必要なのか、不要なのか。</p>
<p>・加藤房子生協・組合連合会常務理事のお話しが良かった。消費者の立場で話して居られた。</p>
<p>・ウドン包装チェック、規定値以下、20%以上だとNGとして廃棄される（2/9朝日新聞報道）何故無駄な事をしているのか？ 定価を考えると売れば良いのに！ 39%の食料受給率しかないのに、食物の破棄率が高いのは許せない。政府の方で改善させるよう、規定・方針を定めて、無駄をなくす法規制などを基準すべきである。食品破棄の改善、減量要望。</p>
<p>・関係主催者、開催に当たり御苦労様でした。</p>